

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434(〒659-0052 伊勢町12-25)

クローゼットイベント「あたりまえのこと(新聞紙と袋)」

日時 7月28日(土) 午後2時～4時
 会場 美術博物館/館外・庭ほか
 内容 大量の新聞紙と袋を使い、出品作家の堀尾貞治さんとともに参加者全員で作品を制作
 講師 堀尾貞治氏(美術家・本展出品作家)
 参加料 無料。どなたでも参加いただけます。汚れてもよい服装で参加ください。

夏を描こう<要予約>

日時 8月5日(日) 午前10時30分～正午 午後1時30分～3時
 会場 体験学習室
 内容 心に浮かぶ夏の風景や花などを描写
 定員 各20人
 参加料 要観覧券(一般300円・大高生200円)
 申し込み 8月4日(土)までに、電話またはファクスで氏名・年齢・連絡先を上記へ
 定員になり次第締め切り



◆◆市民無料の日◆◆
 7月22日(日)が「市民無料の日」です。市在住・在勤・在学のかたは観覧料が無料になります。受付で、確認書類のご提示をお願いします。
 (運転免許証・健康保険証・住民票の写し・住基カード・特別永住者証明書・外国人登録証の写し・社員証・学生証等)

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852(〒659-0052 伊勢町12-25)

【文学館講座】作家・柳谷郁子が語る ～名作の愉(たの)しみ～

日時 7月26日(木) 午前10時30分～正午 会場 講義室 内容 城山三郎作「隠し芸の男」を取り上げ、作品の背景や作者の心情などを解説 講師 作家・柳谷郁子氏 定員 16人
 受講料 2,300円 申し込み 上記へ

【ロビーギャラリー】井上美紀・日本画展～花信風～

期間 7月24日～8月12日 月曜日休館 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 内容 日本画家・井上美紀さんの近作を中心に12点を展示 入館料 300円

◆「広報あしや」を配置している施設一覧◆

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

- 毎月1日と15日に新聞折り込みで各ご家庭に配布しています。また、次の施設でも入手していただけます。ご利用ください。
- 【阪急以北】
 三条デイサービスセンター、アクティブライフ山芦屋、西山郵便局、芦屋病院、和風園、あしや聖徳園、朝日ヶ丘集会所、コープミニ東山、東山郵便局、アクティブライフ芦屋三茶集会所
- 【阪急～国道2号】
 前田集会所、コープミニ西芦屋、市民センター・公民館、JR芦屋駅、ラポルテ市民サービスコーナー、大原集会所、男女共同参画センター、ロングライフ芦屋、上宮川文化センター、翠ヶ丘集会所
- 【国道2号～国道43号】
 市役所南・北玄関受付、くらら芦屋、シルバー人材センター、体育館・青少年センター、芦屋税務署、芦屋警察署、経済課・消費生活センター、商工会、芦屋健康福祉事務所(芦屋保健所)、茶屋集会所、春日集会所、若宮町住宅集会所、打出教育文化センター、あしや市民活動センター
- 【国道43号以南】
 芦屋ハートフル福祉公社、芦屋ケアセンターそよ風、竹園集会所、図書館、美術博物館、谷崎潤一郎記念館、西蔵集会所、エルホーム芦屋、打出集会所、あしや喜楽苑、潮見集会所、保健福祉センター、あしや温泉、浜風集会所、海浜公園プール、マイライフ芦屋、愛しや、浜風の家、コミュニティ・プラザ(市営住宅・県営住宅)、さくらの園、総合公園、ザ・レジデンス芦屋スイートケア、グルメシティ芦屋浜店、潮芦屋交流センター



「幼稚園って こんなどころ」

四月、新学期がスタートした時から園庭は色も種類もさまざまな美しい花にあふれ子どもたちは恵まれた環境の中で遊び始めました。子どもが拾った花びらは砂場に運ばれご飯やピザにトッピングされておいしいご馳走になります。また水を加えてつくられた色水はジュースになります。

最初は、拾ってきた花びら全てを混ぜて偶然にできた色ですが、しばらくすると、「ピーチジュース」つくる、「私はイチゴジュース」青いソラにしようかな、と花の色を求めて園庭を回る子どもの姿が見られるようになります。遊びをおして生まれてくる子ども同士、のつながりや、こんなものがつくりたいとイメージし、考え一生懸命に試行錯誤する姿があります。

また、草花の下にやって来る小虫も子どもたちの遊び仲間です。植木鉢の下にダンゴムシを見つくと、「足がいっぱいある」「つのもーまん丸になっちゃった」とさまざまなことを発見し、触れるようになると小さな生き物への愛しい思いも生まれます。

花びらを食へることを知って、虫がこに入ったダンゴムシに、「何の味花が好きなのかな」といろいろな種類の花びらを与える子どももいます。子どもたちは、幼稚園の豊かな環境の中で「遊びをおしてたくさんのお話を学びます。年間を通して先生たちの細やかな環境づくりは子どもたちの育ちにつながっていきます。

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087



ファミリー・サポート・センター利用料助成

ファミリー・サポート・センターの利用料の報酬額(4月利用分から)を次のとおり助成します。
 対象 ひとり親世帯の世帯主(母子家庭の母または父子家庭の父)の利用者で次に該当するかた
 生活保護法による保護を受けているかた
 「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律(平成6年法律第30号)」に基づく支援の給付を受給されているかた
 市民税が非課税のかた

助成額 支払った利用料のうち報酬額の2分の1(1カ月30,000円が限度)

申請方法 所定の申請用紙に～を添えて、下記へ
 印鑑
 振込口座の番号がわかるもの(世帯主のかたのもの)
 活動の報告書(控)
 「対象」の に該当する場合は福祉事務所の証明書
 「対象」の に該当する場合は市民税非課税証明書(市税の課税状況が確認できる場合は除く)

問い合わせ こども課 ☎38-2045

第26回学校給食展

日時 7月26日(木) 正午～午後4時・27日(金) 正午～午後3時30分 会場 市民センター多目的室・301室 内容 パネル・児童作品展示/試食コーナー(試食券は各日の午前11時50分前から配布)など



問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

「学校園花いっぱい活動」写真展

芦屋市立学校園では、「学校園花いっぱい活動」に取り組み、幼児児童生徒が植物を愛し、生命を大切にしている心情や態度を育て、感性を豊かにすることを目的にしています。この活動の一端を写真で展示します。ぜひご覧ください。

期間 7月18日～31日・午前9時～午後5時30分
 会場 市役所北館1階正面玄関横



問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

市長の資産を公開します

「政治倫理の確立のための芦屋市長の資産等の公開に関する条例」に基づき、『市長の資産等補充報告書』『所得等報告書』および『関連会社等報告書』を公開しています。各報告書の閲覧を希望されるかたは下記まで。

問い合わせ 秘書課 ☎38-2000

水道水源保全作戦を実施しました

6月1日(金) 午後2時から、市および関係団体等で芦屋川取水口から上流約3kmの清掃作業を実施し、不法投棄された機材やごみなど、約320kg(前回は270kg)を収集しました。貴重な水源をきれいに保つため、ごみの適正処理など、市民の皆さんのご協力をお願いします。



収集したごみ

問い合わせ 水道管理課 ☎38-2080

熱中症にご注意ください！！

問い合わせ 消防本部警防課救急救命担当 ☎38-2097

- 【室内での熱中症の予防】
- しっかりと睡眠をとり、体調を整える
- 朝食は必ずとる
- *無理なダイエットはやめましょう。
- 風通しのよい服装で、外出時は帽子を着用
- *黒色は熱がこもり逆効果となります。
- こまめに水分補給
- *スポーツドリンクを2倍に薄めたものが最適です。
- 無理せず、30分を目安に休憩をとる
- 【熱中症になった場合の応急処置】
- 木陰や風通しの良い場所へ移す
- 衣服を緩める
- 濡れタオルで、首筋・脇・足の付け根を冷やす
- 水分を与える(意識のある時だけ与える)
- 意識のないときには、すぐに医療機関へ搬送



【熱中症の症状と対策】
 熱中症には、さまざまな症状があります。軽いものでは、たちくらみやめまい・けいれん・失神など。重くなると、強い疲労感・頭痛・吐き気が起こり、重症になると、意識障害・多臓器不全などが起こり、死に至る場合もあります。

めまい・疲労感・虚脱感・頭痛感・失神・吐き気・嘔吐・意識障害・おかしな言動や行動・過呼吸などの症状が出たら、まずは熱中症を疑って、早めに医療機関で受診するようにしましょう。

【高齢者の汗のかき方】
 高齢者のかたは、気づかない間に室内で熱中症を発症する場合があります。汗をかく機能の老化は、足・背中・お腹・腕の順番に進みます。年をとっても頭や顔からの汗については若いころとはほとんど変わりがないので、高齢のかたは自分が汗をかけなくなっていることに気が付かない場合が多いです。しかし、年をとっても汗腺機能は運動を続けていればある程度は維持できるとも言われます。

こうした高齢者の特性を理解し、元気がなくなった、食欲が落ちた、少し変なことをいったり、または意識がもうろうとしているようなときには、熱中症の可能性があると考え、早めに医療機関の診察を受けるようにしましょう。



いきいきシネマサロン「ひまわり」

映画史上もっとも深い愛。そして、もっとも悲運な運命。ソ連戦線に消えた夫の存在をジョパナは信じ、ソ連に向かう。

■日時 7月28日(土) 午前10時30分～午後2時～
 <上映時間1時間47分>
 ■会場 ルナ・ホール
 ■出演 ソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニ、ヒトリオ・デシーカ監督/1970年作品
 ■参加費 1,000円(小学生以下500円)
 * 広報掲載記事持参で大人200円割引

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700



警察官に感謝状を贈呈

問い合わせ 秘書課 ☎38-2000

私たちが安心して暮らせる明るいまちづくりのため、市民生活の安全や市内の治安維持などに功績のあった警察官に対し、七月五日(木)に開催された「第六十二回社会を明るくする運動・市民の集い」において、次の警察官二人に、山中市長から感謝状を贈呈しました。



益田 三寛 氏 (交通課 係員)

平成18年9月、芦屋警察署に着任、現在は交通課係員として勤務。

主要幹線道路の交差点における横断歩行者妨害違反や、悪質な交通違反である飲酒運転等の交通指導取り締まりを積極的に行うなど、交通事故の防止に大きく貢献されている。



福田 光宏 氏 (刑事課 主任)

平成16年9月、芦屋警察署に着任、現在は刑事課主任として勤務。

主に凶悪事件の捜査や空き巣、ひったくり等の窃盗事件の捜査を担当し、余罪の多いひったくり事件を検挙解決するとともに、犯罪発生・火災・労災等の際には、素早い現場臨場を行うなど市民の安全安心の確保に大きく貢献されている。



熱中症―そのメカニズムと予防対策

毎年、6月から9月までの暑い期間には、熱中症が多発しています。本市でも、昨年は47人の熱中症患者を救急搬送しましたが、そのうち25人が高温多湿な家の中で熱中症になってしまった高齢者のかたでした。室内で熱中症にならないためには、部屋の風通しをよくし、水分をこまめにとるなども有効といわれます。今年も、熱中症予防を心がけましょう。今回は、そんな熱中症の予防対策・対処法などについてお知らせします。

■熱中症とは
 熱中症とは、炎天下でのスポーツなどをしたときにおこる、日射病、塩分不足でおこる筋肉のけいれん、熱けいれん、長時間の作業によりおこる、熱疲労、また高温多湿な屋内などでおこる「熱射病」のおおむね四つに分類されます。

熱中症の発生は、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や、梅雨明けの蒸し暑い日などに多く、最も気温の高くなる八月中旬以降では発生件数が低下する傾向にあります。

その原因としては、梅雨の季節などはまだ体が暑さに慣れていないということが考えられます。人間が暑さに慣れるには二日ないし四日かかるといわれます。この時期は、各個人のコンディションに合わせて発汗量や体温の上昇に注意を払い、暑さに慣れていくことが必要です。

■猛暑に弱い高齢者
 昨今は、連続する猛暑日と熱帯夜が数日続く中で、これまで熱中症被害が出るとは考えられなかった夜間に、全国的に室内で死亡する高齢者が続出しています。気密性が高い最近の住宅では、夜も温度が下がらず、連日の熱帯夜が続く中で、暑さを感じにくい高齢者は徐々に体力を奪われ、体の水分を失い脱水症状となつて重症化してから病院に担ぎ込まれる状況となつてしまつてきているようです。基本的には、室内温度は28度、湿度は70%より低く保つことが、熱中症予防には大切なと考えられています。

【高齢者の汗のかき方】
 高齢者のかたは、気づかない間に室内で熱中症を発症する場合があります。汗をかく機能の老化は、足・背中・お腹・腕の順番に進みます。年をとっても頭や顔からの汗については若いころとはほとんど変わりがないので、高齢のかたは自分が汗をかけなくなっていることに気が付かない場合が多いです。しかし、年をとっても汗腺機能は運動を続けていればある程度は維持できるとも言われます。

こうした高齢者の特性を理解し、元気がなくなった、食欲が落ちた、少し変なことをいったり、または意識がもうろうとしているようなときには、熱中症の可能性があると考え、早めに医療機関の診察を受けるようにしましょう。